

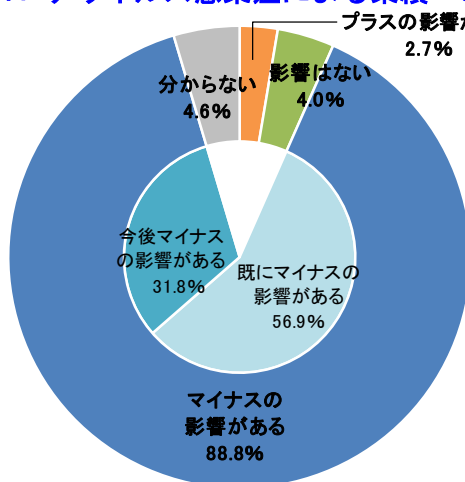
## 特別企画 : &lt;速報&gt;新型コロナウイルス感染症に対する企業の意識調査 (2020年4月)

## 新型コロナウイルス、企業の88.8%で「業績にマイナス」 ～ 三大都市圏で、全国平均よりもマイナスを実感 ～

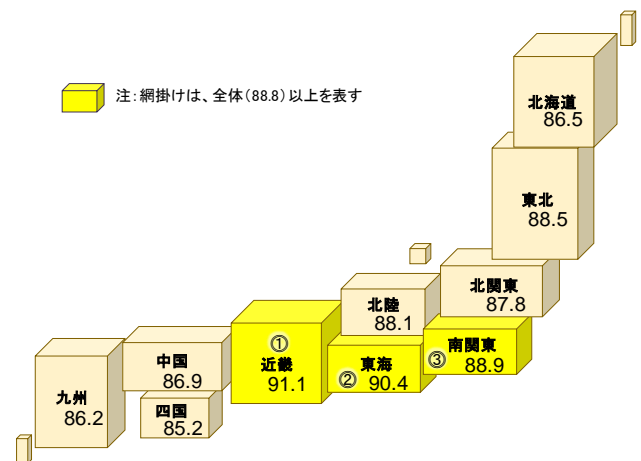
■ 新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるっている。日本でも感染拡大にともない、2020年4月7日に7都府県を対象地域とした「緊急事態宣言」が発出された。さらに、4月16日には対象地域を全国に拡大し、国民の生活および経済活動に大きな影響を及ぼしている。そこで、帝国データバンクは、新型コロナウイルス感染症に対する企業の見解について調査を実施した。本調査は、TDB景気動向調査2020年4月調査とともにを行った

※ 調査期間は2020年4月16日～30日、調査対象は全国2万3,672社で、有効回答企業数は1万1,961社（回答率50.5%）。なお、新型コロナウイルス感染症に関する調査は、2020年2月、3月に続き、3回目

### 新型コロナウイルス感染症による業績への影響



### 業績に『マイナスの影響がある』割合 ～ 地域別 ～



注1: 母数は、有効回答企業1万1,961社  
注2: 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

### 調査結果 (要旨)

1. 新型コロナウイルス感染症による自社の業績への影響、『マイナスの影響がある』と見込む企業は88.8%。前回調査(80.3%)と比較すると8.5ポイント増加した。内訳をみると、「既にマイナスの影響がある」が56.9%、「今後マイナスの影響がある」が31.8%となった
2. 「影響はない」とする企業は4.0%だったほか、『プラスの影響がある』（「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計）と見込む企業は2.7%となった
3. 『マイナスの影響がある』を地域別にみると、『近畿』が91.1%と最も高い。次いで、同じく9割台で『東海』(90.4%)が続く、以下、『南関東』(88.9%)、『東北』(88.5%)、『北陸』(88.1%)となった。全国平均を超えた地域は、三大都市圏のある『近畿』、『東海』、『南関東』

#### 【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課

担当: 池田 直紀 (080-4900-8758)、旭 海太郎 (080-4899-2468)

TEL 03-5775-3163 e-mail keiki@mail.tdb.co.jp

リリース資料以外の集計・分析については、お問い合わせ下さい (一部有料の場合もございます)。

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。